

の取組を最優先課題として実施します。

まず、複数指導の充実と補習学習の実施により基礎学力の確かな定着を目指す学力向上事業については、個々の学校の状況を考慮しながら、学力向上支援教員を配置し、子どもたちへのきめ細やかな指導を行います。

また、本年度、緊急的に実施した夏季休業期間中のフォローアップ教室については、引き続き、中学3年生の受験対策として継続していきます。さらに新たな取組として中学校3年生を対象に英語検定受験料の一部を補助することにも、ALTなどを活用した試験対策を実施し、英語検定3級以上の取得率向上を目指します。

児童・生徒の学びを深め、臨時休業のような緊急事態にも対応できる学校、ICTの推進に関しては、ICT支援員の配置、教師用デジタル教科書の導入、授業のオンライン配信環境の整備などにより、本格的な活用を進めることで、行田版GIGAスクール教育を実践していきます。

このほか、県内最高水準の子ども医療費支給事業を継続しつつ、保育所や学童保育室における待機児童ゼロを堅持することにより、引き続き、子育てのしやすい環境を整備していきます。



フォローアップ教室の様子

●「住んでよかった」まちづくりの施策

市政運営の大原則は、市民第一主義であり、市民生活を何よりも重視した施策を実施していきます。

まず、新ごみ処理施設の整備に関しては、羽生市と広域的に事業を進めていくことで合意しました。令和3年度は、ごみ処理基本計画の改定や循環型社会形成推進地域計画を策定し、事業を着実に進めるとともに、コストや利便性などの検証を行い、最も有益なごみ処理行政を実現していきます。

ます。

災害対策では、多様な災害情報伝達手段を確保するほか、防災備蓄倉庫の備蓄品を計画的に整備・更新することにも、新たな防災ガイドマップを作成し、災害への備えを強固なものとしていきます。

出水対策では、西新町地区の流域貯留浸透事業や排水機場の排水ポンプの更新に加え、埼玉県の水対策事業と連携した校庭貯留施設の整備に着手します。

福祉分野では、高齢者の健康づくりや通いの場づくりを目的としたらくらぐらウンドゴルフ事業を開始することにも、誰もが生き生きと暮らせる地域共生社会の実現に向けた調査研究や研修会を実施します。

このほか、市内事業者を活



行田市防災ガイドブック

用した住宅改修に対する補助事業を新たに開始し、地域経済の活性化を図ります。

●「行ってみたい」まちづくりの施策

古代から現代に至るまで多彩な歴史に彩られた本市は、魅力ある観光資源、歴史資源、文化資源にあふれており、こうした豊富な資源を最大限に活用したまちづくりを進めることで、まちの活性化を図っていきます。

観光施策では、一般社団法人行田おもてなし観光局が本格的にスタートします。また、埼玉県が進めるさきたま古墳公園整備事業に合わせて、公園内への飲食・物販施設の整備に着手し、交流人口や観光消費の拡大を図っていきます。八幡通りにおいては、地域と一体となって行田らしいまち並みの景観形成を促進し、行田はちまんマルシェとの相乗効果により、さらなるにぎわいを創出していきます。

このほか、新たにロボット技術やICTを活用したスマート農業に資する機材の導入費用を補助し、次世代農業への取組みを支援していきます。



行田はちまんマルシェの様子

【主な質疑】

○ふるさとづくり事業

問 本事業において、ふるさととは何を示すのか。

答 城下町や足袋のまちとしてにぎわったふるさと行田をイメージしたもので、本事業はこれらの豊富な地域資源を生かしたまちづくりを目指すものである。

問 これまでに、どのような効果があったのか。

答 歴史的建築物等の保存や活用により、まち並み景観を整備し、にぎわいの創出につながることも、郷土愛の醸成を図っている。

○住宅改修資金補助事業

問 補助の条件は何か。

答 市民が市内事業者を利用して住宅等の改修を行う場合に工事費用の一部を補助するもので、新築・中古いずれの